

研究タイトル：古代日本の国家的造営事業史 ／算額の調査と算額奉納文化の歴史研究



氏名：	徳竹 亜紀子／TOKUTAKE Akiko	E-mail：	tokutake@sendai-nct.ac.jp
職名：	准教授	学位：	博士(文学)
所属学会・協会：	東北史学会、木簡学会、正倉院文書研究会、続日本紀研究会		
研究分野：	歴史学、考古学、博物館学		
キーワード：	日本古代史、正倉院文書、寺院造営、算額、和算		
技術相談 提供可能技術：	・日本古代史の基礎知識 ・歴史資料の読解 ・赤外線カメラを用いた歴史資料・文化財の撮影		

 名取
 考古学
 博物館学

研究内容：

■ 研究内容

- 1) 古代日本でおこなわれた大規模造営事業における組織、財源、資材および技術者集団の確保等に関する実態解明と、関連する法制度
- 2) 算額の調査、および算額奉納を介した和算文化の地域的広がりとの人的交流

■ 研究シーズ

- 1) 日本古代国家が寺院宮部などの大規模な造営をどのように計画し実現したかという問題に関心をもち、組織運営、財源、資材・労働力の確保、技術者の動員といった観点から研究しています。
- 2) 近年、各地の寺社に奉納された算額の調査研究を進めています。この研究では、歴史学と数学の研究者によるグループを立ち上げ、両者の専門性を活かして共同研究を行う点に特徴があります。調査に際して、赤外線カメラを活用して撮影を行い、墨痕が薄れた算額の文字解読にも力を入れています。

■ 関連論文

- 1) 日本古代造営事業関連
 - ① 徳竹亜紀子「金光明寺造物所をめぐる一試論」(『国史談話会雑誌』第56号、2015)
 - ② 徳竹亜紀子「画所解考」(『国史談話会雑誌』第54号、2013)
 - ③ 徳竹亜紀子「古代の作画事業と画工司」(『古代文化』第65巻第1号、2013)
 - ④ 徳竹亜紀子「阿弥陀浄土院造営機構の再検討」(『ヒストリア』207、2007)
- 2) 算額・和算関連
 - ① 徳竹亜紀子・谷垣美保・萬伸介「瀬峰泉谷熊野神社奉納算額をめぐる諸問題」
(『仙台高等専門学校名取キャンパス研究紀要』第60号、2024)
 - ② 徳竹亜紀子・谷垣美保「2022年度の算額調査」(『仙台高等専門学校名取キャンパス研究紀要』第59号、2023)
 - ③ 徳竹亜紀子・谷垣美保「2021年度の算額調査」(『仙台高等専門学校名取キャンパス研究紀要』第58号、2022)
 - ④ 徳竹亜紀子・谷垣美保「宮城県白石市小原地区の算額調査」
(『仙台高等専門学校名取キャンパス研究紀要』第57号、2021)
 - ⑤ 谷垣美保・徳竹亜紀子「舞野正観音堂奉納算額の調査」
(『仙台高等専門学校名取キャンパス研究紀要』第56号、2020)

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	